



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)2月25日号 No.1884

## 目次

■ <b>ロシアのウクライナ軍事侵略という事態に寄せて</b> .....	服部 倫卓 1
■ <b>新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応</b> .....	ROTOBOモスクワ事務所 9
■ <b>統計速報</b> .....	14
2021年のロシアの貿易 / 14	
■ 『 <b>ロシアNIS調査月報</b> 』2022年3月号のご紹介 .....	21
■ <b>エトセトラ</b> .....	22
ロシア脱炭素・環境スタートアップピッチ / 22	
ロシア工業団地バーチャル展示会(VERIP) / 22	
■ <b>トピックス</b> .....	23
三井物産がガスプロムネフチと覚書締結 / 23	
日本企業がロシア製鉄所向けシステム完工 / 23	
日本製鉄副社長が輸入原料代替準備 / 23	
ロシアが空港を一部閉鎖 / 23	
黒海向けコンテナ輸送は通常通り運航 / 24	
損保大手3社がロシア・ウクライナ周辺海域を「除外水域」指定 / 24	
ロシア関連資産の売却が加速 / 24	
岸田首相が対ロ追加制裁発表 / 25	
ロシア・NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース / 25	

## ロシアのウクライナ軍事侵略という事態に寄せて

ロシアNIS経済研究所 所長

服部 倫卓

### はじめに

ロシアのプーチン大統領は2月24日、国民向けのテレビ演説で、ウクライナに対し「特別軍事作戦」を開始すると表明した。実際に、ロシア軍は同日、ウクライナの軍事施設・空港への攻撃を開始している。すでに多数の死傷者に関する報告がある。プーチン大統領がどのような表現を使おうと、ロシアの行動は主権国家に対する明白な軍事侵略に他ならない。

これに先立ち、プーチン大統領は2月21日、ウクライナ・ドンバス地方の自称ドネツク人民共和国(DNR)、ルガンスク人民共和国(LNR)を国家承認する決定を行い、それぞれと条約を結んで、ロシアから「平和維持部隊」を送る(実際には以前から存在していたが)ことを取り決めていた。これだけでも許しがたい暴挙であったが、ロシア軍がウクライナ本土(ここでは2014年以降キエフの中央政府が実効支配してきたエリアを便宜的にそのように呼ぶ)に全面攻撃を仕掛けるに至り、昨年来続いてき